

アイドリングストップ車用鉛蓄電池規格 日中共同検討会議を東京で開催

(一社)電池工業会は、平成26年9月6日に機械振興会館にて、日中共同でアイドリングストップ車用鉛蓄電池規格を、IEC (International Electrotechnical Commission 国際電気標準会議) へ新規に提案するための検討会議を開催した。



9月6日(土)機械振興会館(東京都港区芝公園)にて、日中共同でアイドリングストップ車用鉛蓄電池規格を、IECに提案するための検討会議を開催した。本会議には、日本と中国の自動車用鉛蓄電池に関するエキスパート(技術者)20名が出席して、活発な意見交換を行った。

PM2.5に象徴される深刻な環境問題が懸念されている中国国内では、中央・地方政府が大気汚染を抑制するため環境対応車の普及拡大を掲げている。その中で、アイドリングストップ車(IS車)の普及にも力を

入れるため、瀋陽蓄電池研究所(中国鉛酸蓄電池標準化技術委員会)は、昨年末、アイドリングストップ車用鉛蓄電池の標準規格(GB規格)の制定を計画した。その後、瀋陽蓄電池研究所より電池工業会に対し、既に電池工業会規格として制定されている、アイドリングストップ車用鉛蓄電池規格(SBA S 0101:2014)を参照したい旨の申し入れがあり、4月に電池工業会と瀋陽蓄電池研究所の会合を持って、日中共同で中国国内規格を作成し、さらにIECに日中共同で提案する旨の合意を行った。同会合には電池工業会から

は二次電池技術委員会委員長、瀋陽蓄電池研究所からは所長及び副所長が参加した。

この合意によって、GB規格に代表される中国の国内規格作成に対して、中国国内で製造販売を行う日系電池メーカーが参画できることで発言権が向上し、将来に亘り中国の鉛蓄電池規格の作成作業に、日系電池メーカーが関与出来ることが期待される。また日中が共同でIECに新規提案（New Proposal：NP）をする事で、欧州に対応出来るアジアの勢力をまとめる事が出来ると思う。

9月6日の会議には、中国側から11名（日系電池メーカー4名含む）の技術者と、日本側から9名（通訳、事務局含む）が参加した。議長を山口技術委員長が務め、電池の試験条件等を含む各項目に対して、今年末

に発行が予定されている中国国内規格と、新規に提案を計画しているIEC規格を、同時に審議した。

中国国内規格は今年末に発行が計画されており、IEC国際会議（TC21/WG2）は12月にパリで開催される予定である。



平成26年度第2回一次電池部会を開催

平成26年9月10日、白井部会長（パナソニック株）を議長に、平成26年度第2回一次電池部会を開催した。冒頭、白井部会長よりコンプライアンス・ルールに則り部会進行する旨の宣言がなされた。続いて部会長および専務理事の挨拶があったのち、各委員会の代表者より活動報告があった。



1. 白井部会長挨拶

9月1日に防災の日を迎えたが、最近の台風や大雨など異常気象が続いており、大きな災害が多く発生している。台風、地震、津波などの大きな災害が発生したときには、一次電池部会としては電池・携帯電灯などの必需品の供給義務を果たしていきたい。そのための供給体制や仕組みづくりについては整備されつつあるが、引き続き積極的に協力体制づくりに取り組んでい

きたい。

一次電池部会では、業界発展はもちろんのこと健全な市場形成・社会貢献に向けてしっかりと取り組んでいきたい。



2. 淡路谷専務理事挨拶

9月5日電池工業会正賛合同会議を北海道札幌市にて開催し、130名強の方々のご参加をいただき無事終了した。その中で、会長・副会長2名と3



名の方がご挨拶された際、今の景気が不透明で先行きが見えないということを共通して言われていた。消費税率アップ前の駆け込み需要とその反動があったり、8月の新車販売が大きく落ち込んだりといった状況の中で先行きが見えないというコメントがでてきた。

本年1月から6月までの統計データを見ると、一次電池は前年並み、二次電池は前年より2ケタの伸びを示しており好調であった。とりわけ小型二次を見ると輸出が非常に好調で、消費税率アップ前の駆け込み需要だけでは説明できないという状況であった。

正賛合同会議に先立って理事会を開催し、その中で自主統計の件について一定の方向性が見えてきた。一方で、各品目の統計データを取る今日的目的は何なのか明確にすべきとのご指摘もあり、今後関係する方々としっかり論議していきたい。

3. 委員会報告

各専門委員会から平成26年度の活動の経過報告があった。

(1) ボタン電池回収推進委員会 (楯本委員長)

* 水俣条約 国内法制化への対応

(環境対応委員会が担当しており、内容は割愛)

- ボタン電池回収の協力店数は順調に増加。回収量も前年を上回る。
- 7月にリサイクラーの定期監査を行う。
- 7月に広域認定のアップデート手続きを行う。
- 水俣条約を受けた国内法制化について、対応。

(2) 器具委員会 (蜂谷委員長)

- 日本のあかり博物館視察。重要有形民俗文化財に指定された日本最初の灯火具専門館を見学。
- ホームページ内容充実。携帯電灯関連の記載内容の英文翻訳作業が完了、次回の委員会にて最終審議ののちHPを更新する。

- SBA S 1602 (防犯ブザー) 規格の改正。防滴性の追加検討などを継続審議中。
- 外部機関との意見交換。公益財団法人全国防犯協会連合会 (全防連) と防犯ブザーの規格改正に関する意見交換を次回委員会以降に実施する予定。

(3) 資材委員会 (高野委員長)

• 7月25日に第2回資材委員会を開催し、以下の3点について討議。

- 1) JOGMECとの意見交換会8月25日開催で決定。
- 2) コンプライアンス (下請法) 遵守のための勉強会、意見交換会の実施。
- 3) 主要材料5アイテム (Zn・Li・Mn・Ni・Co) の市況動向を調査。

- 非鉄全体に需要は回復傾向、価格は亜鉛とニッケルが特に上昇傾向。
- ウクライナ問題など地政学的リスク懸念、投機筋の資金流入などで全般的に強い
- JOGMECとの意見交換会。8月25日JOGMECにて開催。
- 9月5日に第三回資材委員会を開催し、以下の4点について討議

- 1) JOGMECとの意見交換会についてのまとめ
- 2) コンプライアンス (下請法) 遵守のための勉強会、意見交換会の実施
- 3) 主要材料5アイテム (Zn・Li・Mn・Ni・Co) の市況動向の調査

- 需要は引き続き回復傾向で、亜鉛はタイト感が顕著。ニッケルが価格高止まり。
- リチウムイオン電池部材は将来的な需要増あるも比較的安定推移。

- 4) 関係業界の施設見学会。定例委員会を兼ねて住友金属鉱山 (株) を訪問予定。

(4) 業務委員会 (佐藤委員長)

- ニカド・ニッケル水素分科会で審議検討した提案内容が、最終的には11月4日から開催されるIEC東京会議にて審議されるため、それまでの間WGは休会。
- 統計合同委員会の取り組み経過について経過報告。
- 有事発生時の救援物資供給体制に関し、有事発生時の基本的な対応スキームづくりについて、事務局ならびに各社検討を行い次回の委員会に持ち寄り、検討することとした。

- 次回委員会は、メガソーラー実証研究設備の見学、離島での電池販売現場視察を兼ねて、10月17～18日に開催予定。

(5) PL委員会 (杉田委員長)

- 2013年度重要クレーム情報まとめ：ホームページの「電池のQ&A」のデータとトラブル事例の更新。
- WE LOVE DENCHIの改訂検討：改定案を盛り込んだ2014年版を発行。
- 合同PL委員会を10月31日～11月1日に開催予定。各PL委員会の活動内容の共有会議を開催予定。リチウムの再生工場を見学予定。

(6) 技術委員会 (仁司委員長)

- 規格小委員会活動 (IEC関連)
IEC/TC35国際会議 (札幌) での宿題事項、および次回12月開催予定の国際会議 (オランダ) に向けた対応審議を実施。

- 1) IEC60086-1 (一次電池通則) および60086-2 (一次電池個別製品仕様) 9月発行予定のCDV文書 (翻訳用) を選考入手。9月末までに内容の精査を行い10月の委員会で再確認後にIEC事務局にコメント提出予定。
- 2) IEC60086-3 (時計用電池) : IEC60086-2 (一般用途) との整合性提案について、外部団体との打ち合わせ実施。

- 規格小委員会活動 (JIS関連)

- 1) JIS C 8513 (リチウム一次電池の安全性) 改正審議。
6月の第2回委員会 (書面審議) を経て、6月末に審議結果を反映させた改正原案を日本規格協会 (JSA) に提出。8月29日で規格調整分科会が開催され、審議内容を反映させた改正案を9月12日までにJSAへ提出予定。
- 2) JIS C8500 (一次電池通則) 及びJISC8515 (一次電池個別製品使用) 改正原案作成審議。
JISC8500とJISC8515は、関係が密接であるので、JIS公募申請は同時に行うこととし、改正審議スケジュールを検討した。

- リチウム小委員会活動

- IEC規格のメンテナンス作業を実施。
IEC60086-4 (リチウム電池の安全性) についてISが9月に発行となる見込み。
- リチウム電池輸送規制について

- 1) 旅客機輸送：2015年1月1日からリチウム金属電池の旅客機による輸送は原則禁止となるが、当局承認付きで少量輸送 (0.3g以下電池50個) が認められる予定。但し、安全評価手法としてCriteria試験が適用され、申請時には報告が日何時用となる見通し。

- 2) 貨物機輸送：リチウム金属会議の貨物機による輸送条件がICAOブラジル会議 (10/20-24) で検討審議される予定。これに先立ちドイツでリチウム電池輸送に関わる第2回調整会議が開催されることになったため、8月22日に臨時小委員会を開催して、これまで各社分担で試験・評価してきたコイン電池安全性主張データのまとめ及び報告資料、Information Paper (IP) を作成し提出。

(7) 国際環境規制総合委員会 (醍醐委員長)

- 地域別 (欧州/北米/アジア/中南米) の環境規制状況レポート作成。
- CIPA (カメラ映像機器工業会) との意見交換と冊子の宣伝。
- 今後の活動計画としてリサイクル施設見学、国際電池リサイクル会議ICBRに参加、日本機械輸出組合との意見交換など。
- 世界の安全規格を収集する過程で、環境と関係のない安全規格の案件がヒットする事例が増えていることに関する問題提起。

(8) 広報総合委員会 (大道委員長)

- 展示会・イベント関係
- 8月2日 (土) に九州でんちフェスタを昨年の福岡市から会場を変え鹿児島市にて開催。昨年の実績の3倍となる1,342名の来場者があった。
- 8月27日 (水) に関西でんちフェスタを神戸市にて開催。前年の583名から956名と来場者増で盛況だった。
- 11月1日 (土) にでんちフェスタを東京・お台場の日本未来科学館で開催予定。
- キャンペーン・PR関係：手づくり乾電池教室には27カ所から応募。
- 情報発信関係：「WE LOVE DENCHI」を改訂につきPL委員会からの改訂提案も盛り込み、6月末完成。各イベントにて活用中。

第72回二次電池第2部会を開催

平成26年8月29日、湯浅部会長（パナソニック（株））を議長に、第72回二次電池第2部会を開催した。冒頭でBAJ競争法コンプライアンス・ルールを遵守することを確認した後、部会長と専務理事の挨拶があり、続いて各委員会の代表より活動報告がなされた。



1. 湯浅部会長挨拶

産構審の自動車産業の重点6分野に電池が指定され、官民一体での国際競争力強化の動きを強く感じた。また産業用蓄電システム普及の為の政府への要望書が各社の承認も得て完成したので、まもなく提出することを報告する。



2. 淡路谷専務理事挨拶

正賛合同会議でプレゼンする内容で、上半期の金額は、一次、鉛、小形二次ともに前年比増となっている。2012年までは減少傾向だったが、下げ止



まりの状況になったと期待している。またMETI機械統計とBAJ自主統計の差がだんだん開いてきており、これは自動車用が伸びていると予想される。BAJでも車用の補機への取組など議論を進めて欲しい。

3. 委員会報告

(1) 技術委員会

(藤田委員長)

<リチウム二次分科会>

国際電池規格委員会の依頼事項の審議。

- IEC61960 3rd Edition (LIB性能) のCD案対応。
- IEC62133-2 1st Edition (LIB安全) のCD案対応。

<ニカド・ニッケル水素分科会>

1) 国際規格

- IEC61951-1 Ed4 (ニカド電池規格) の審議。
- IEC61951-2 Ed4 (ニッケル水素電池規格) の審議。
- IEC62133-1 (ニッケル系安全性規格) の審議。

2) 市販用ニッケル水素 サイクル評価条件検討。

<PSEWG>

- NITE や METI の動きをウォッチ実施。
- 2014年7月16日 H26年度第1回PSEWG会議開催。

<LIB安全性技術WG>

- IEC62660-3 関連 (JARI電池標準化WG) の技術対応。

<据置LIB分科会>

- IEC61427-2 (グリッド接続蓄電システム用電池) CDV対応。
- IEC 62619 (産業用LIB安全) CD対応。
- IEC 62620 (産業用LIB性能) CDV対応。
- 船用 JIS に対する対応。

<LIB 蓄電システム WG>

- 国土交通省建築設備基準審議。
- 「公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 平成25年版」等の改定について。
- TC120 (国内審議団体：日本電気学会) 関連。

<TC108小委員会活動>

- 平成26年7月29日第108委員会HBS分科会開催。
- IEC62368-2 (108_540e_DTR) テクニカルレポート改定案の状況確認。

(2) 国際電池規格委員会 (古川委員長)

1. SC21A IEC規格

- ①WG3 IEC61960 リチウム二次電池の性能・表示規格 (単電池・組電池)。
 - コイン形 Li二次電池の新規格

- ②WG4 IEC62133 ポータブル機器用二次電池安全規格 (単電池・組電池)。

- ③WG5 IEC62619/IEC62620 産業用 Li二次電池の安全・性能規格 (単電池・組電池)。

2. IEC 規格 その他 TC 等

- ①TC21 JWG82 IEC61427-2 グリッド接続の蓄電システム用電池の性能・安全。

- ②TC113 (ナノマテリアル)。
 - 熱暴走評価 (釘刺) 試験 (台湾 ITRI 提案) の NP 提案 (113/223/NP) が回付。

3. 中国のLi二次電池安全規格

[産業用リチウムイオン電池の国際標準化の動き]

1. 蓄電システム用LIB規格

(1) IEC

- ①新規TC TC120 (EES System; Electrical

Energy Storage System)。

- ②SC21A へのドイツ提案 IEC 62897。

(2) 米国NTSB の動き

(3) 定置用 LIB 普及促進サポート委員会 (田村委員長)

1. 活動報告 (2014年6~8月)

- (1) 委員会活動3回開催 (内2回は次世代委員会との合同)。

○補助金制度関連

○補助金状況

○次世代蓄電池委員会との統合について

普及促進委員会→(5つのWG)法規WG, 基準策定WG、制度策定WG、広報WG、大型カスタムWGとし、大型カスタムWG(新設)は当初目標として2016年度補助金獲得(エネルギー)を目指す。

(4) 国際電池輸送委員会 (栗野委員長)

- (1) 第45回国連危険物輸送会議 (6/23-7/3 ジュネーブ スイス)

・適切な危険有害性情報伝達 (ラベル) に関する提案。

・機器組み込みの少量および試作電池の輸送。

(2) その他

1) ICAO主催の第2回リチウム電池調整会議。

2) 国連危険物輸送委員会の Informal WG。

(5) PL委員会 (岡元委員長)

- (1) 表示ガイドラインの対応。
- (2) 電気用品安全法に関する対応。
- (3) 模倣、改造、再生電池への対応。
- (4) 電池の正しい使い方等に関する啓発資料の作成。
- (5) 「製品安全のためのリスクアセスメント活用事例」の対応。
- (6) 東京消防庁対応。

(6) 業務委員会 (佐藤委員長)

- 統計業務の進め方について

<BAJに関する統計業務の問題点>

<理事会議案>

統計総合委員会を設置する。現在の統計合同委員会は廃止する。

(7) 次世代蓄電池委員会 (中満委員長)

1. 最近の活動内容

- (1) 政府への要望書
- (2) 本委員会・法規WGの活動
 - ①次世代蓄電池委員会
・次世代蓄電池委員会と定置用 LIB 普及促進サポート委員会の統合。
 - ②法規WG

2. 今後の活動方針

- (1) 本委員会の活動について
- (2) 政府へのタイムリーな要望
- (3) 各WGの活動について

(8) 広報総合委員会 (大道委員長)

・展示会・イベント関係

- ①九州でんちフェスタ：8/2開催、来場1342人、コンテスト応募88通。
- ②関西でんちフェスタ：8/27開催、来場959人、コンテスト応募138通。
- ③でんちフェスタ：11/2開催予定。

・キャンペーン・PR関係

- ①PRキャンペーン：
全国紙を使った啓発キャンペーンを展開。
- ②手作り乾電池教室：
全国27か所で展開。

・情報発信関係

- 印刷物・PRツール：
小冊子「WE LOVE DENCHI」2014年度版完成

(9) 国際環境規制総合委員会 (伊勢副委員長)

1. 地域別の報告事項

- 1) 北米地区
 - ①米電池関連4団体が電池の収集・リサイクルを定めるモデル法案を発表。
- 2) 欧州地区
 - ①欧州化学品庁、REACH規則に基づきSVHC（認可）候補リストを更新
 - ②RoHS2指令の追加制限物質候補
- 3) アジア・オセアニア地区
 - ①オーストラリア プロダクト・スチュワードシップ法

4) 中南米

- ①メキシコ政府は、廃棄物処理一般法を改正する政令を公布。
- ②ブラジル：リバースロジスティクス

2. CIPAとの意見交換ならびに冊子の宣伝

(6/25:半蔵門 JCIIビル)

(10) 工場環境委員会 (小野委員長)

ニッケル化合物の管理濃度について

- 1) 平成26年度第1回管理濃度等検討会
合意が得られるまでは、ニッケル化合物の管理濃度は現状通りとする。
- 2) これまでの議事概要（参考情報）

(11) 再資源化委員会 (小林委員長)

- 1) 経済産業省への報告書
- 2) 再資源化委員会
 - ①小形充電式電池の識別表示ガイドラインの見直し（改版）
 - ②次世代蓄電池委員会への「政府要望書」作成
- 3) 定置用LIB分科会
 - ①当面のスケジュール
 - ②IEC61960改正（JIS C8711 改正）

4. JBRC報告 (飯田事務局長)

1. 会員状況

- ・8月現在：307法人

2. 回収・再資源化状況

- (1) 回収量：対前年度比101%
- (2) 再資源化率（Li-ion）：46%

3. 主な回収強化活動

- (1) 回収拠点数：33,447（7月末）
- (2) リサイクルキャンペーン

4. 広報・イベント活動

- (1) 広報・宣伝：新聞広告、インターネット広告
- (2) 展示会・イベント出展：出展計画7件のうち2件終了

新世代電動式キャリアに GSユアサのリチウムイオン電池システムが採用 ～蓄電池を主動力源とする世界初の電動式キャリア「NeGEM(ネジェム)」～

株式会社 GSユアサ



産業用リチウムイオン電池モジュール「LIM50E-8」



NeGEM

日本車輛製造殿が開発した「NeGEM (ネジェム)」

株式会社 GSユアサ（社長：依田 誠、本社：京都市南区。以下、GSユアサ）が製造・販売しているリチウムイオン電池システムが、日本車輛製造株式会社（社長：中川 彰、本社：名古屋市熱田区。以下、日本車輛製造）殿が2014年7月に発売した世界初の新世代電動式キャリア「NeGEM (ネジェム)」に採用されました。

このたび、日本車輛製造殿は環境面に配慮し、経済性に優れたNeGEMを開発しました。従来、製鉄所や造船所などで大型重量物を運ぶ重量物搬送車両（キャリア）の動力源は大型ディーゼルエンジンが

主流でしたが、NeGEMは動力源として、GSユアサのリチウムイオン電池モジュール「LIM50E-8」を搭載しています。このリチウムイオン電池システムは、数多くの走行試験を実施し、GSユアサと日本車輛製造殿が開発したシステムです。

GSユアサのリチウムイオン電池は人工衛星などの特殊用途、鉄道車両やマテリアルハンドリングシステムなどの様々な分野で広くご採用いただいています。ハイブリッド車やプラグインハイブリッド車など電動化車両の需要が拡大している車載用とともに、今後はさらに、産業分野でも用途拡大を図り、環境負荷低減に貢献してまいります。

【NeGEMの主な特長】

- ・EV運転時には、排気ガスの排出やエンジン音がなく、快適な作業環境を実現
- ・工場などで多く使用される交流200V電源からプラグイン充電が可能
- ・航続距離が長い場合には、小型エンジン駆動発電機で充電しながらの走行が可能

【「LIM50E-8」の仕様】

容量 (Ah)	47.5	質量 (kg)	17.5
公称電圧 (V)	29.6	外形寸法 (mm)	W : 215×D : 414× H : 135
最大充電電流 (A)	125	使用周囲温度範囲 (°C)	放電 -20~40 充電 -10~40
最大放電電流 (A)	300	使用周囲湿度範囲 (%)	0~90

【NeGEMに搭載された蓄電池の仕様】

構成	LIM50E-8 20直列 2並列
電力量 (kWh)	57
公称電圧 (V)	592

【この件に関するお客様からのお問い合わせ先】
株式会社 GSユアサ 産業電池電源事業部 新エネルギー営業部
TEL 06-6344-1602

【この件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社 GSユアサ 広報・IR室
TEL 075-312-1214

ワイヤレス充電「Qi (チー)」規格に対応したUSBモバイル充電器「mobile VOLTAGE (モバイルボルテージ)」を発売

～Qi規格対応充電ステーション「AIR VOLTAGE (エアボルテージ)」にもコンパクトモデルを追加～

日立マクセル株式会社



Qi規格対応ワイヤレス & USBモバイル充電器「mobile VOLTAGE」(WP-EMBL5000BK)

Qi規格対応充電ステーション「AIR VOLTAGE」(WP-PD20SBK)

ワイヤレス充電時の使用イメージ

日立マクセル株式会社(取締役社長:千歳 喜弘、以下マクセル)は、ワイヤレス充電の「Qi」規格に対応したワイヤレス&USBモバイル充電器「mobile VOLTAGE (モバイルボルテージ)」(WP-EMBL5000BK)および充電ステーション「AIR VOLTAGE (エアボルテージ)」(WP-PD20SBK)を9月16日より順次発売します。

マクセルは、2011年4月に国内で初めてQi規格に対応した充電ステーションおよびQi充電カバー「AIR VOLTAGE (エアボルテージ)」シリーズを発売しました。その後、スタンド型の充電ステーションやQi充電機能を搭載したBluetoothスピーカーなど、Qi対応の製品を投入し、ワイヤレス充電機器のラインアップ拡充を図っています。

このたび発売する「mobile VOLTAGE」(WP-EMBL5000BK)は、Qi充電にも対応したUSBモバイル充電器です。Qi対応の充電ステーションや充電スタンドに置くだけでワイヤレスに本体の充電ができるほか、付属のUSBケーブルを経由したパソコンやAC電源からの充電にも対

応しています。

電池容量は5,000mAhで、スマートフォンを2台同時に充電できるほか、2A出力によるタブレット端末の充電にも対応しています。バッテリーの残量・充電状態はLED表示で確認できます。

あわせて発売するQi充電ステーション「AIR VOLTAGE」(WP-PD20SBK)は、従来モデル「WP-PD10S」から大幅にサイズを縮小し、幅80mm×奥行き150mmと卓上でも場所をとらないコンパクトなデザインとしました。

国内外の自動車市場でQi規格に準拠した車載用充電ステーションの採用が増えるなど、ワイヤレス充電への関心が高まっており、さらなる普及が見込まれます。マクセルは今後も市場のニーズに応え、ワイヤレス充電機器および関連製品の拡充を図っていきます。

■他社商標注記

・「Qi」は、Wireless Power Consortiumの登録商標です。
・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

【製品情報】

品名	型番	カラー	発売日	価格
Qi規格対応ワイヤレス&USBモバイル充電器「mobile VOLTAGE」	WP-EMBL5000BK	ブラック	9月22日	オープン
Qi規格対応 充電ステーション「AIR VOLTAGE」	WP-PD20SBK	ブラック	9月16日	オープン

「Qi」規格とは:WPC(Wireless Power Consortium)が策定したワイヤレス給電に関する国際標準規格です。
「Qi」規格に準拠していれば、異なるメーカーの製品同士でも、充電ステーションに置くだけでワイヤレス充電が可能です。
*WPC(Wireless Power Consortium) : <http://www.wirelesspowerconsortium.com/jp>

【お客様お問い合わせ先】 日立マクセル株式会社 お客様ご相談センター
〒102-8521 東京都千代田区飯田橋2-18-2 TEL: 03-5213-3524 FAX:03-3515-8261

【ワイヤレス充電器ご紹介ページ】
http://www.maxell.co.jp/consumer/wireless_charger/index.html

平成26年 9月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	5日(金)	第119回理事会	会員代表者変更の件、会員名称変更の件、他。
	5日(金)	正賛合同会議	会長及び専務理事スピーチ、ゲスト講師講演、他。
	9日(火)	でんちフェスタワーキンググループ	でんちフェスタの実施概要に関する打合せ。
	9日(火)	広報総合委員会	関西でんちフェスタの検証、でんちフェスタの詳細確認、PRキャンペーンの検討、みらいのでんちアイデアコンテストの経過報告、他。
	10日(水)	188回 講習実施委員会	愛知県にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、可否を判定。
二次電池部会	4日(木)	技術委員会	SBA S 0804、G 0806 改正審議 JIS見直し審議。
	6日(土)	日中共同IEC提案会議	IS車用電池規格の審議。
	8日(月)	産業用電池技術サービス分科会	SBA G 0605 改正審議、他。
	9日(火)	産業用電池リサイクル委員会	ホームページ改訂審議、他。
	12日(金)	充電器分科会	SBA G 0904 改正審議、JIS C 4402 改正検討、他。
	12日(金)	自動車鉛分科会	SBA S0102 新作審議、他。
	18日(木)	PL委員会、自動車技術サービス分会合同会議	安全啓発リーフレットの見直し、他。
	18日(木)	業務分科会	統計項目見直し業務。
	19日(金)	産業電池委員会	産業用電池に関する情報交換。
	19日(金)	用語分科会	SBA S 0102、G 0302 審議、他。
	24日(水)	自動車用電池委員会	自動車用電池リサイクル状況、統計区分の修正案について審議、他。
	24日(水)	据置アルカリ分科会	IEC61427-1CDへのコメント対応審議、他。
	25日(木)	据置鉛分科会	消防庁4800Ah・セル改正審議。JIS C8701改正審議、他。
	26日(金)	EV鉛分科会	現在までの活動まとめ。
一次電池第2部会	8日(月)	国際電池輸送委員会	輸送に関する手引書の改定審議。
	12日(金)	再資源化委員会	小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議。
	18日(木)	工場環境委員会	省エネ状況、ISO14001更新審査等の情報交換。
	18日(木)	国際電池輸送委員会	ICAO会議対応および輸送に関する手引書の改定審議。
	29日(月)	LIB安全性技術WG	内部短絡試験に関する対応審議。
	29日(月)	ニカド・ニッケル水素分科会	IEC61951-1及び-2のCDへの各国コメント対応審議、他。
一次電池部会	2日(火)	PL委員会	HP掲載内容の更新審議、他。
	4日(木)	資材委員会	下請法コンプライアンス遵守のための事例研究、他。
	10日(水)	一次電池部会	各専門委員会の活動経過報告審議、他。

7月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2014年7月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	328,893	62,997	92%	100%	2,321,138	447,732	100%	109%
一次電池計	213,454	7,368	94%	98%	1,479,908	49,865	101%	103%
酸化銀電池	64,906	1,087	108%	100%	458,749	7,979	103%	101%
アルカリ乾電池計	71,985	3,241	85%	92%	521,910	22,369	101%	103%
単 三	37,013	1,391	80%	85%	289,764	10,536	101%	101%
単 四	23,014	887	84%	87%	155,438	5,937	100%	104%
その他	11,958	963	112%	115%	76,708	5,896	102%	108%
リチウム電池	76,563	3,040	94%	104%	499,249	19,517	99%	103%
二次電池計	115,439	55,629	88%	101%	841,230	397,867	98%	110%
鉛電池計	2,672	13,895	96%	104%	18,271	95,546	102%	108%
自動車用	2,005	8,922	94%	102%	13,548	58,498	103%	111%
その他の鉛蓄電池	667	4,973	103%	106%	4,723	37,048	100%	103%
アルカリ蓄電池計	47,042	16,196	84%	89%	307,862	107,811	85%	92%
ニッケル水素	36,946	14,591	88%	89%	248,237	97,732	93%	93%
その他のアルカリ蓄電池	10,096	1,605	70%	88%	59,625	10,079	61%	79%
リチウムイオン蓄電池計	65,725	25,538	90%	108%	515,097	194,510	109%	125%
車載用	15,497	12,229	89%	116%	169,900	105,251	191%	169%
その他	50,228	13,309	91%	101%	345,197	89,259	90%	96%

7月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2014年7月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	163,241	32,045	94%	90%	1,189,702	229,822	101%	103%
一次電池計	81,141	2,191	108%	105%	583,877	14,925	106%	110%
マンガン	2	2	10%	47%	4	22	0%	31%
アルカリ	1,936	60	63%	111%	27,057	564	88%	116%
酸化銀	41,989	510	126%	97%	305,488	4,033	111%	100%
リチウム	37,123	1,449	96%	109%	250,299	9,785	105%	116%
空気亜鉛	63	1	36%	29%	727	8	93%	94%
その他の一次	29	170	81%	98%	302	513	59%	96%
二次電池計	82,100	29,854	84%	89%	605,824	214,896	96%	102%
鉛蓄電池	150	935	75%	86%	929	5,710	76%	92%
ニカド	7,143	579	62%	60%	38,382	3,307	50%	50%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	2	582%	44%
ニッケル水素	10,129	4,364	66%	80%	71,253	35,455	80%	94%
リチウムイオン	60,149	14,853	91%	84%	469,365	114,586	108%	100%
その他の二次	4,528	9,123	96%	109%	25,895	55,836	84%	123%
全電池合計（輸 入）	128,654	10,838	106%	89%	862,084	78,175	105%	106%
一次電池計	120,787	2,005	107%	112%	804,549	13,755	106%	118%
マンガン	11,044	156	62%	88%	81,950	1,019	92%	114%
アルカリ	90,485	1,195	118%	120%	605,185	7,786	111%	121%
酸化銀	415	8	95%	80%	2,101	59	42%	59%
リチウム	13,145	554	98%	109%	81,352	3,584	89%	101%
空気亜鉛	5,664	88	116%	117%	32,545	559	117%	134%
その他の一次	34	4	>>>	20%	1,416	748	812%	336%
二次電池計	7,867	8,833	94%	85%	57,535	64,420	101%	104%
鉛蓄電池	662	2,779	100%	109%	4,874	18,523	109%	110%
ニカド	124	167	98%	106%	908	1,216	85%	96%
ニッケル鉄	0	1	—	—	0	1	2%	8%
ニッケル水素	1,540	511	123%	115%	13,091	3,600	105%	109%
リチウムイオン	3,531	4,399	71%	76%	25,889	34,579	90%	103%
その他の二次	2,010	977	144%	69%	12,773	6,502	126%	90%